学校だより

教育は愛

令和６年１月３１日発行
さいたま市立本太小学校
Tel　048-882-3007
http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp
e-mail　motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長　千葉　裕（ちば　ひろし）

◆　２月を逃がさない！

２月は１年で最も短い月です。その短さ故、「２月は逃げる」と表現されます。学校教育では、２月こそ、本年度の総まとめをする大切な時期であり、「節分」が新しい年への節目となるように新年度の準備を本格的に進める時期となります。

２月を逃がすことのないよう教職員一丸となって２０日間をフル活用してまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、今月もご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

◈　常に子どもファーストのＰＴＡ活動！

本校のＰＴＡ活動は、常に子どものことを第一に考え、会員の皆様が気持ちよく活動できるように知恵を絞り、工夫されています。これは、小畠ＰＴＡ会長様をはじめとするＰＴＡ本部役員の皆様が、保護者の皆様のご意見や要望を整理し、学校の教育活動へのご理解を深めながら、計画を立案され、運営されているからだと思います。

私は、子どもたちの健全な育成には、学校・保護者・地域の皆様が鼎（かなえ）のようになって教育活動を紡いでいくことが重要だと考えております。その要となっているのは、ＰＴＡの熱量ではないでしょうか。本太小学校の学校力を力強く支えてくださっているエンジンの一つとなって、フル回転して活動いただいているＰＴＡの皆様には、感謝の気持ちで一杯です。

ＰＴＡの本部会、運営委員会に出席させていただくと委員の皆様の笑顔が輝いています。「笑顔のもとに笑顔が集まるＰＴＡ活動」に心からの敬意を表します。

そして、これからも子どもファーストで共に頑張りましょう！！

◈　防災教育を重視する時です！

１月２６日（金）は、３０分休みに抜き打ちの避難訓練を行いました。休み時間ですから担任の誘導に頼らず、今いる場所から子どもたちは自分の判断で避難しなくてはなりません。地震発生の緊急放送、火災発生を報せる非常ベル、運動場へ避難を指示する放送、教職員も真剣モードで臨みます。その中で子どもたちも、緊張感をもって避難行動をとることができました。

教室から避難するのとほぼ同じ８分間で全員の避難が完了しました。今後は、定型化された避難訓練だけでなく、多様な状況からの訓練や大地震発生時の対応の仕方等について、いろいろな方法で子どもたちに指導してまいります。そして、大地震から子どもたちの尊い命を守り抜くために、学校・保護者・地域で積極的に意見交換できるような場を設定してまいりたいと考えております。

◈　雪に耐えて梅花麗し　霜を経て楓葉丹し（西郷隆盛）

私が１年間の研修に参加する際に、ある大先輩が揮毫してくださった言葉です。

意味としては、「雪に耐えて美しい梅の花が咲き、霜を経て楓の葉は紅くなる、人間も厳しい修行や経験を経て、成功をつかむことができる」というものです。

地道な努力や辛抱する強い心をはぐくむことは、子どもたち一人ひとりの美しい花を咲かせる大切な鍵になると考えます。

「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～